

名家連ニュース

令和6年4月12日(金)
発行：特定非営利活動法人
名古屋市精神障害者家族会連合会
会長 池山 豊子
TEL/FAX(052)846-5576 NO.989号

◆◆ 精神疾患の基礎知識講座「家族に届ける」第5回 ◆◆

精神疾患の基礎知識講座の第5回が、3月30日(土)13時30分から名古屋市総合社会福祉会館7階大会議室で開催され、40名が参加しました。最終回のテーマは「精神科医&訪問スタッフに聞いてみよう」です。これまで毎回、精神科医、精神科認定看護師の方に聞きたいことを書いてもらいました。それに対して精神科医の五十嵐達夫先生と精神科認定看護師の松井洋子さんがご自身の活動を紹介しながら、それらの質問に答えていただきました。長江美代子さん(一般社団法人日本フォレンジックヒューマンケアセンター副会長)がファシリテータとして全体の進行役を務められました。

五十嵐先生は、長年精神科勤務医として働いていたが、薬物療法の限界を感じ2018年京都の高木俊介先生のACT-K(Assertive Community Treatment=包括型地域生活支援プログラム-京都)に参加した。その間、メリデンの研修に2回参加した。昨年独立して、奈良に診療所開院した。現在も週に1回、ACT-Kで働いている。高木俊介医師の活動を紹介したNHKの番組のビデオを映し、訪問医療の実際を紹介した。

ACT-K利用者にメリデン版訪問家族支援を提案して、1年間にわたりファミリーワークを行った。ご本人に関するご両親の心配事(処方薬や多飲水など)に話題が集中しがちで、日本で多くみられる現状(中年のご本人+高齢のご両親)では、更に工夫が必要だと感じた。ご本人の症状は大きくは変わらなかったが、家族からは「言いたいことを言やすくなった」「家の中の雰囲気良くなった」という感想をいただいた。

「Q:服薬してもらうには A:何故嫌なのか理解する。」「Q:急に怒り出したり暴力をふるう場合 A:何か理由があるはずなので、それを見つけることが必要」「Q:どういう家族が本人を回復させるのか A:前向きに対応する」「Q:本人に合う精神科医の見つけ方 A:いろいろ試すしかない」

松井洋子さんは、看護学校専任教員、精神科クリニック勤務を経て、2015年からキノ株式会社(本社=大阪府門真市)が運営する訪問看護ステーションみのり横浜(横浜市)を立ち上げ、管理者を務めた。現在、横浜市南区自立支援協議会、南区家族会で精神科訪問看護、家族支援の普及啓発を行っている。また、NPO法人じゃあさアカデミー(岐阜県加茂郡七宗町)で、コミュニティケアの活動を開始、神奈川県と岐阜県の二拠点生活をしている。

訪問看護ステーションみのりは、精神科に特化した独立型のステーションとして、地域で「その人がその人らしく生きる」=「QOL(生活の質)を高める」ことをともに考え、安心して地域で生活できるよう自己決定を支援しサポートすることを目標にしている。訪問エリアは、電動自転車(30分以内)で、事業所がある区内と隣接する区内。訪問スタッフ一人が1日6軒を訪問している。

「みのり横浜」ではこれまでにメリデン版訪問家族支援を6例実施。本人、家族がそれぞれの目標を設定し、ファミリーワーカーと一緒に考えていく過程を大切にしている。みんなねっと2023年9月号で、Aさんの事例を紹介した。本人が母親の目標を応援し、行動できるようになり、ファミリーワークは終了。訪問看護は継続している。

精神科訪問看護基本療養費(円)		
	30分以下	30分以上
(月の一回目)	1,320	1,450
	※1,960	※2,090
(週3日目まで)	720	850
(週4日目以上)	810	950
※24時間対応体制加算ありの場合		

「Q:精神科訪問看護の実施回数 A:精神科医の指示書で実施。1日1回、週3回まで保険適応となる。症状が急性増悪した場合、特別指示書で2週間の連続訪問ができる。65歳以上でも継続利用可能である。」「Q:本人不在でも、家族が訪問看護を受けられる? A:はい。」「Q:精神科訪問看護の利用料金 A:表を参照」「Q:メリデン版訪問家族支援の利用料金 A:1回60分なので表1の30分以上の料金」「Q:病状悪化しているとき A:調子のいい時に悪化した時のプランを用意しておく」「Q:訪問拒否をしているとき A:家族と会っているうちに、この人は味方だと受け入れてくれることもあった」「Q:医療につながらないとき A:横浜市は各区にMSW(メディカルソーシャルワーカー)を配置、アウトリーチに取り組んでいる」「Q:どういう家族が本人を回復させるのか A:回復を信じ、支援者の力を借り、見守ることができる家族」

連続講座に5回参加して、より本人、家族に寄り添った訪問診療、訪問看護を提供しようと活動している方が様々な立場で全国にいらっしゃることを知りました。本人が、このような志を持った方々と出会えるよう、更に勉強していきたいと思いました。講師の皆様、参加者の皆様どうもありがとうございました。(文責 実行委員、広瀬)